

「ACP（人生会議）」セミナー in 真和志

講演①：『ACP「人生会議」セミナー』

講師：きなクリニック 在宅医 喜納 美津男 氏

演題②：『施設で行えるACP（人生会議）とは何か』

～訪問看護の立場から現場実践を通して～

講師：ウィル訪問看護ステーション豊見城 訪問看護師 山川 将人 氏

講演③：『利用者に寄り添うACP』

～それぞれの環境で、できることを考える～

講師：介護職 小橋川 さくら 氏

講演④：『ちむぐくルール ～ポイント⑧ 救急受診の判断と連携～』

講師：那覇市消防局 救急課 城田 覚 氏

講演⑤：『緊急連携シート ～病院の立場からのお願い～』

講師：沖縄赤十字病院 救急医 佐々木 秀章 氏

○日 時：令和4年12月14日（水） 午後7時00分～9時00分

○場 所：沖縄県医師会・3階ホール

○参加者：40名

【背景】介護関連施設で、本人を中心としたACPの実践が進まない現状がある。

【目的】①本人・家族の希望があれば話し合える土壌を構築する。

②『緊急連携シート』の活用を通して救急連携のあり方について、セミナーを通し施設、医療機関、消防局との連携強化を図る。

【対象】有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム

【方法】①那覇市内4エリア（首里・真和志・本庁・小禄）へ出向き参集型開催（今回は真和志）

②出前講座前に、コアの施設を選定し、準備会を開催する。

【結果】アンケートを参照下さい。

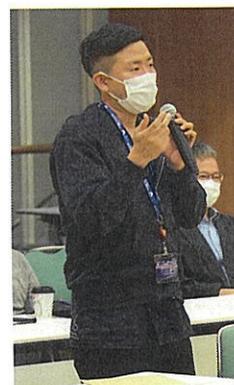
【考察】参加者は介護職が半数を占めた。リピーター参加もあり、ACP実践に意欲的な施設が増えてきた印象である。参加者より、「ACP＝看取りではないというのは大事だと思った」、「DNARが最も重要と考えていたが、その前段階でのACPの重要さも改めて考えさせられた」、「本人に立ち返る、職員の価値観を入れない、という言葉が印象的だった」、「本人、家族の話をよく聞き多職種での話し合いが大切と思った」、「救急車の適正利用の奥深さを知れて勉強になった」等の感想があった。次年度は、本庁地区、小禄地区での開催を予定している。



司会：佐久川 伊弘 氏



講師：喜納 美津男 氏



講師：山川 将人 氏



講師：小橋川 さくら 氏



那覇市消防局
救急課
城田 覚 氏



沖縄赤十字病院
救急医
佐々木 秀章 氏



グループワーク「ACPを実践するための事前準備」



ACP(人生会議)セミナー in 真和志

主催:那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇



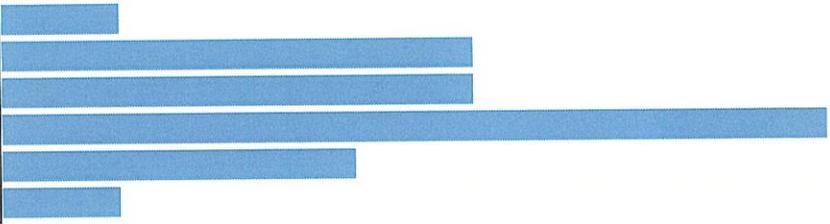
日 時：令和4年12月14日（水） 19：00～21：00

場 所：沖縄県医師会 3階ホール

参加者：40名 回答者：20名（50%）

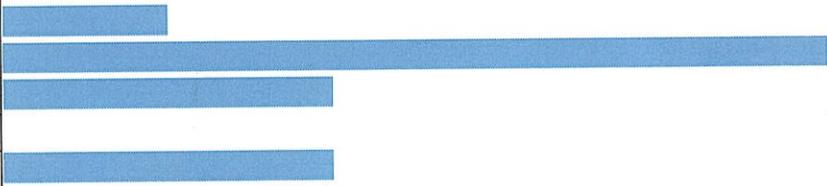
経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	1	5%
1～5年未満	4	20%
6～10年未満	4	20%
11～20年未満	7	35%
21～30年未満	3	15%
31年以上	1	5%
無回答	0	0%
総計	20	100%



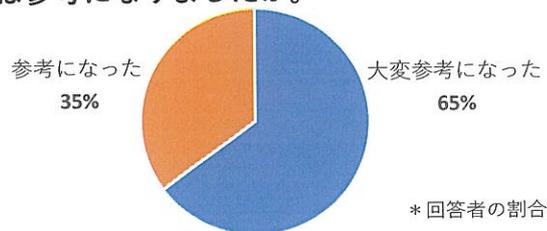
職種の内訳

職種	人数	割合
看護師	2	10%
介護職（ヘルパー等）	10	50%
管理者	4	20%
地域包括支援センター職員	0	0%
その他	4	20%
無回答	0	0%
総計	20	100%



1. 『ACP（人生会議）』（講師：喜納 美津男 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	13	65%
参考になった	7	35%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
総計	20	100%

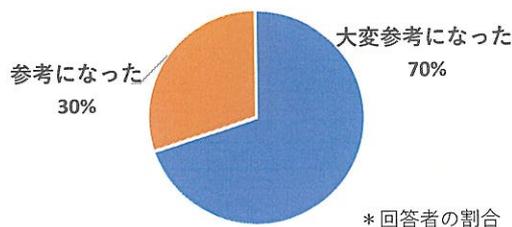


演題：『ACP(人生会議)』（講師：喜納 美津男 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・代理意思決定になる前から話をしていることなどが大切ということではっとさせられました。今後、利用者の言葉を聞き逃さないようにしたいと思います。
- ・今までACPの存在を知らなかったので、勉強になりました。
- ・日々どうあるべきかということに直面しています。参考にさせていただきます。
- ・人生の最後にどのように寄り添っていくのが良いのか分かった。
- ・ACPについて話を聞くのが初めてだったため、どれもが参考になった。
- ・ACPの内容が色々あって何をしておかないといけないのかが分かりやすかったです。
- ・在宅医療がもっと増えることを願っています。リアルACPもっと知りたいです。
- ・DNARが最も重要と考えていましたが、その前段階でのACPの重要さも改めて考えさせられました。
- ・ACP＝看取りではないというのは大事だと思った。
- ・以前もセミナーで聞いていた。改めて大切なことと考えた。
- ・ACPについて考えが変わりました。

2.『施設で行えるACP（人生会議）とは何か～訪問看護の立場から現場の実践を通して～』
（講師：山川 将人 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	14	70%
参考になった	6	30%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
総計	20	100%

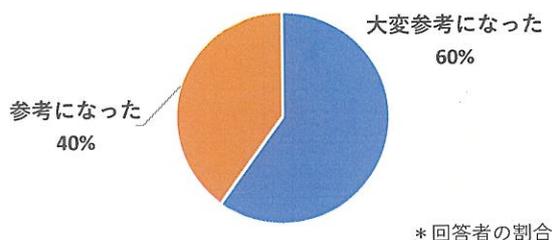


演題：『施設で行えるACP（人生会議）とは何か～訪問看護の立場から現場の実践を通して～』
（講師：山川 将人 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・どんなところから情報がとれるかちょっとした日々ヒントがあるかと気づかされました。
- ・色々な考え方があったらと思う勉強になりました。
- ・看取りを行うにあたり、参考にさせていただきます。
- ・改めて、日常生活の中での関わりが人生の最後を決めていけると気づいた。
- ・「本人に立ち返る」「職員の価値観を入れない」という言葉が印象的だった。
- ・情報収集は大切ですが、先生などとの連携も大切で、伝えやすいということも大事だと思いました。
- ・現場の介護スタッフの声を拾うように心がけているのは素晴らしいと思った。
- ・実際の経験からできる事、その人が望んでいる事を実行できるのはすごいと思いました。
- ・喜納先生の後に聞いて、医療従事者以外でも本人の話の中から希望を聞いた事例があったこと。

3.『利用者に寄り添うACP～それぞれの環境で、できることを考える～』
（講師：小橋川 さくら 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	12	60%
参考になった	8	40%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	20	100%

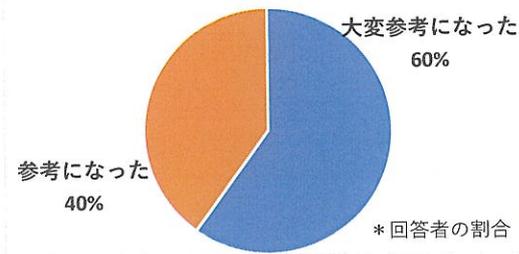


演題：『利用者に寄り添うACP～それぞれの環境で、できることを考える～』
（講師：小橋川 さくら 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・苦しいのを見てもらえないと職員・ご家族からも良く聞かれるが、そう思うことは珍しいことではないんだなと思いました。
- ・利用者のこと、家族のことを考えて話し合いが大事だと理解ができ勉強になりました。
- ・共感できることが多く、今の自分自身の課題整理になり、大変良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・他職種の方の考え方や不安について理解することが出来ました。
- ・本人、家族の話をよく聞き、多職種での話し合いが大切だと知った。
- ・介護職場でのリアルな過程を聞かせて頂き、より良い対応を考えることにつながられた。
- ・身近な事例でとても伝わりやすかったです。改めて考える機会になりました。
- ・講演者の思いが溢れたものでした。よかったです。
- ・介護施設でのおこる事、現在の働いている職員はACP＝看取りと思っていると思います。伝えることの大切さを分かりました。
- ・小橋川さんと同じ考えでした。

4.『ちむぐくルール～救急受診の判断と連携～』（講師：城田 覚 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	12	60%
参考になった	8	40%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	20	100%

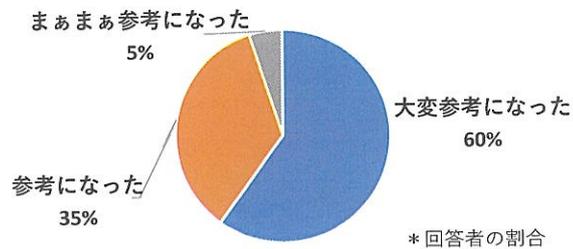


演題：『ちむぐくルール～救急受診の判断と連携～』（講師：城田 覚 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・救急の方に本当に支えられている利用者さんがいらっしゃいます。有効な活用、適切利用を知っていても、主治医とつながらない時や時間帯あり、現実的に救急車を呼ぶしかないという状況がありました。
- ・救急搬送せざるを得ないこともあり、現場の混乱を招いていることを実感しました。
- ・「救急車の適正利用」の奥深さを知れて考えが深まった。
- ・救急対応をうちの施設でも改めて振り返ろうと思う。
- ・介護施設で最期の診断ができない。Dr.がいればいいが、いない場合は救急に頼るしかない。

5.『緊急連携シート～病院の立場からのお願い～』（講師：佐々木 秀章 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	12	60%
参考になった	7	35%
まあまあ参考になった	1	5%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	20	100%



演題：『緊急連携シート～病院の立場からのお願い～』（講師：佐々木 秀章 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・那覇は救急車呼んで搬送先が近くでみつかる方だと思います。ありがたく感じております。
- ・準備しております。
- ・情報が大事！というのが分かった。自施設に反映させたい。
- ・「DNRについて治療しないわけではない」というのは学ばされた。

6. グループワークはいかがでしたか。また、全体を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。

- ・ACP=看取りのイメージしていたが、普段から本人の関わり合いが大切だと思いました。介護状態や認知症になる前の情報収集も必要だと分かりました。
- ・職場でのACP会議これから行って、職員間でも本人の思いなど大事にして、いい最後を迎えられたらと思いました。
- ・前回も参加したんですが、その時には無かった意見がでてきたのでためになりました。
- ・話の聞き方、話の仕方は難しいなあと再確認できました。少人数（4名）というのは良かったと思います。
- ・色々な意見が出て、いろんな考えがあるんだと思い、いい経験になりました。
- ・短い時間内で考えを吸い上げるのは難しかったと思いますが、丁寧に発言に耳を傾けて頂き、ありがとうございました。

令和4年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
第2回 ACP(人生会議) セミナーin真和志 アンケート結果

- ・テーマが大きすぎて、意見をまとめるに良かったように思います。
- ・他事業所、職種の取り組みが聞けて良かったです。
- ・グループワークをする事で、自分には考える事ができなかった意見を聞くことが出来た。
- ・ACPについて利用者さまへのヒアリングの工夫を知ることができ、実践できそう。
- ・本人の価値観を主体に置くこと、普段の会話から本人の意思をくみ取ることが大事であることに気づかされました。ありがとうございました。
- ・職種や経験が違っていても、ご本人様とご家族様を想う気持ちは一緒なのかなーと思ったことが今日一番の良い体験となりました。
- ・実際の看取りの場面での看護師の大変さが直接聞けて良かった。なかなか体験できない話だった。
- ・緊急連携シートは救急車に職員が同乗しなくてもいいと聞きましたが、その話はなかったので提示して同乗は必要ですか？
- ・初めはあまり議題が出ませんでしたでしたが、一人が話題を出したら皆が言ったので、色々な内容の考えを聞けて良かったです。